

日本水大賞委員会同時発表

平成 29 年 3 月 29 日  
水管理・国土保全局河川計画課

## 第 19 回日本水大賞の各賞を決定

～水循環の健全化に貢献する団体等が実施する様々な活動から特に優れたものを表彰～

日本水大賞委員会（名誉総裁：秋篠宮殿下）は、水循環の健全化に貢献する様々な活動を行っている学校や団体の活動を対象とした第 19 回日本水大賞の受賞者を「久留米市立金島小学校」（福岡県）に、国土交通大臣賞の受賞者を「PFI 佐原リバー株式会社」（千葉県）に決定しました。

表彰式及び受賞活動発表会は、平成 29 年 7 月 11 日（火）に開催します。

日本水大賞は、安全な水、きれいな水、おいしい水にあふれる 21 世紀の日本と地球を目指し、水循環の健全化に貢献するさまざまな活動を対象に、社会的貢献度が高い、水防災、水資源、水環境等の分野における活動の中から、特に優れたものを表彰し、広く国民に発信することを目的として平成 10 年度から行っているものです。審査を行った日本水大賞委員会は、名誉総裁として秋篠宮殿下に御就任を賜り、毛利衛 日本科学未来館長を委員長とし学識経験者等により構成されています。

### 【主な受賞者】

#### 日本水大賞【応募数 136 件】

##### 「大賞」

活動主体の名称：久留米市立金島小学校（福岡県）

活動の名称：創作劇「とこしま堰物語」の公演活動

～地域の資源（筑後川）を活かした教育活動～

##### 「国土交通大臣賞」

活動主体の名称：PFI 佐原リバー株式会社（千葉県）

活動の名称：“次世代へ繋ぐ”利根川水域交流連携

～交流人口拡大と舟運ネットワーク創出がもたらす地域活性化～

※大賞及び国土交通大臣賞のほか、環境大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、文部科学大臣賞、経済産業大臣賞、市民活動賞、国際貢献賞、未来開拓賞、審査部会特別賞が設けられています。各賞受賞者や選定理由等は「別添」をご参照下さい。

### 【表彰式及び受賞活動発表会】

日程：平成 29 年 7 月 11 日（火）

会場：東京都江東区 日本科学未来館

#### 【問合せ先】

国土交通省 水管理・国土保全局 河川計画課河川情報企画室 企画専門官

流域情報分析企画係長

電話：03-5253-8111（内 35-375, 35-394） 03-5253-8446（直通）

FAX：03-5253-1602

めぐろひでき  
目黒嗣樹  
よしだみゆき  
吉田美幸

## 国土交通大臣賞

活動主体の名称：PFI 佐原リバー株式会社

活動の名称： “次世代へ繋ぐ” 利根川水域交流連携

～交流人口拡大と舟運ネットワーク創出がもたらす地域活性化～

### ○受賞理由

PFI 佐原リバー株式会社の活動は「水の郷さわら・川の駅・道の駅」を拠点とし、観光協会と協働した親水イベントの開催や水郷文化を体験学習できる舟運の運営だけでなく、市民による水防災、歴史伝承、緊急時対応の実践など、流域における行政区域を越えた様々な活動に及んでいます。

東日本大震災では、拠点が被害を受け、一時活動を休止しましたが、新規の航路を開拓するなど、広域舟運ネットワークを創出し、賑わいを取り戻しています。

舟運後継者の育成を目的とした船舶免許教室は延べ 1200 人以上が受講したほか、災害時に利用できるボートの操船大会の開催なども定着しています。また、利根川下流域全体のハザードマップを作成し、水防災の基礎知識から利根川の歴史文化まで含めた防災教育に取り組み、これまでに 16 万人を超える人が学習しました。

行政・団体と交流、協議、協働して、地域の活性化、観光振興、後継者の育成、防災教育を実践していることは、多くの地域の参考となるでしょう。加えて、こうした活動が、株式会社として成立し、継続していることは、民間活力による地域創生という観点からも模範になると考え、国土交通大臣賞を授与することとしました。